



まちのわだい



町内の主なできごとと、頑張っている皆さんの姿をお伝えします！

9/22



幕別町地域防災訓練

災害時に備えて

札内スポーツセンターを指定避難所とする公区を対象に「幕別町地域防災訓練」が行われ、約230人が訓練に参加しました。

避難者による避難所の開設から閉所までの運営や、段ボールベッドの組み立てなどを行い、災害時に備えました。



9/30



交流教室「パラリンピアンがやってきた」

車いすラグビーに挑戦

車いすラグビーの体験教室が幕別小学校で行われ、日本代表の池崎大輔さんら4人が来校しました。

小学3・4年生が対象の体験会では、競技用車いすに試乗し、選手とのタックルに挑戦。タックルを受けた後は笑顔でハイタッチしていました。



9/22



ナウマンぞうり卓球

白熱ご当地卓球に大歓声！

第5回全世界ナウマンぞうり卓球大会がホテルアルコで開催され、出場者72人がゾウの縫いぐるみ付きぞうりラケットを使ったご当地卓球を楽しみました。一般の部は佐々木慎司さん、フレンドリーの部は佐藤寛徳さんが熱戦を制しました。



9/24



途別小学校稲刈り

実りの秋を迎える

途別小学校で5月に植えた「きたゆきもち」が実りの秋を迎え、全校児童と地域住民らが協力し、鎌を使った手作業での稲刈りを行いました。

子どもたちは笑顔で稲刈りや、わらでしばって乾燥させる作業を行っていました。



文部科学省では、全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題の検証・改善、また学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、平成19年度から「全国学力・学習状況調査」を実施しています。

この調査では、国語及び算数（数学）が毎年度、理科及び英語（中学校のみ）が3年に1度の調査となっております。

今年度は、4月18日に児童生徒4577人を対象に、国語、算数（数学）及び英語の教科に関する調査と生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査を行いましたので、その結果を公表いたします。

教育委員会では、本調査結果を活用し、児童生徒一人ひとりが確かな学力を身に付けられるよう、今後も取組を進めていきます。

問 教育委員会学校教育課
（☎）54・2006

◆生活習慣や学習環境に関する調査結果(主なもの)

質問に対し、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合です。

自分にはよいところがある

	小6	中3
幕別町	81.7%	79.2%
全道	78.9%	73.4%
全国	81.2%	74.1%

先生はあなたのよいところを認めてくれる

	小6	中3
幕別町	89.8%	90.0%
全道	84.4%	82.1%
全国	86.1%	81.5%

学校に行くのは楽しい

	小6	中3
幕別町	91.1%	83.2%
全道	83.5%	78.7%
全国	85.8%	81.9%

家で計画を立てて勉強している

	小6	中3
幕別町	76.2%	63.8%
全道	71.3%	49.2%
全国	71.5%	50.4%

人の役に立つ人間になりたいと思う

	小6	中3
幕別町	97.9%	96.8%
全道	94.7%	94.0%
全国	95.2%	94.3%

◆教科に関する調査結果(国語/算数・数学/英語)

	小6	中3
全体的な傾向	すべての教科で全国平均、全道平均を上回った。	すべての教科で全国平均、全道平均を上回った。

○理解している・身に付いている内容

教科	小6	中3
国語	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読むこと 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくこと	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつこと 語の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解すること
算数 数学	台形について理解していること 目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができること	反例の意味を理解していること 平行移動の意味を理解していること
外国語		教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができること 語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができること

○課題のある内容

教科	小6	中3
国語	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと 図表やグラフなどを用いた目的を捉えること	封筒の書き方を理解して書くこと 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること
算数 数学	示された除法の式の意味を理解していること 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができること	グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができる 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること
外国語		聞いて把握した内容について、適切に応じることができること 日常的話題について、情報を正確に聞き取ることができること

平成31年度全国学力・学習状況調査結果

地域おこし協力隊 活動日記

vol.05

協力隊員が活動の中で感じたことなどを
写真とともにお伝えします。



地域活性化やイベント告知等の幅広いコミュニケーション手段として、様々なマスコットキャラクターがあります。幕別町のキャラクターは、地域の皆様にはお馴染みの「パオくん」です。昭和44年に発掘されたナウマン象をモチーフにされたパオくんは、忠類色が強いキャラクターと言えます。行政や企業の中には個性的なキャラクターやキモカワ系など様々なものがありますが、パオくんは正統派キャラとして愛嬌があります。可愛らしいポーズや仕草で、これからも幕別町、そして忠類の広告塔になり「愛され・ゆるキャラ」として、クマゲラくんと共に、ぜひ全国に羽ばたいてくれると嬉しいです。



道の駅と菜の館ベジタに7月末から設置済みのデジタルサイネージですが、この度、忠類の魅力を発信する2本目の動画製作にとりかかりました。観光スポットの紹介や特産品のPR、移住等の促進を言葉にするのではなく、忠類の魅力を映像や音で表現・発信できたらと思います。忠類で撮影された美しい風景画像を綴ることによって、土地そのものの魅力アピールにつながり、多くを語らなくても、言葉以上により多くを感じてもらえるPR映像になると思います。今回は、ショートムービーを数本合わせてひとつにし、前作とは少しカラーの違うデジタルサイネージ動画にしていく予定です。

Instagramで
町の魅力を発信中！



10/7



平田オリザさんによるワークショップ 手作りの台本で演劇に挑戦

町友の平田オリザさん(劇作家・演出家)が「演劇の手法を用いたコミュニケーション教育」と題し幕別小・中学校でワークショップを行いました。グループに分かれて用意された台本を基に台詞や設定を考え、自分達が作った台本で演劇に挑戦しました。

平田さんは感想を述べたあと、「意見が対立したときは、相手の意見をしっかりと聞いて、自分の意見と折り合いをつけることが話し合いのコツ」とまとめました。

10/8



東日本道路株式会社に感謝状

地域貢献活動に感謝状贈呈

地域貢献活動を行った東日本道路株式会社に町から感謝状を贈呈しました。相川南近隣センター駐車場の舗装および周辺環境整備を行っていただきました。

町長は「地域のみなさんも喜んで。大変ありがたいこと。」と感謝を述べていました。



10/1



忠類ナウマン象化石骨発見50周年記念事業 模型組み立ての体験に感動

特別展の開催に先立ち、忠類小・中学校の生徒が展示作業体験に参加しました。中学生は胴体を中心に、小学生は顔と鼻、牙を装着。忠類ナウマン象の化石骨全47個が初めて忠類に里帰りした年に「本物の化石は重たい」と貴重な体験に喜んでいました。



10/1



忠類小学校マラソン大会 元気よくスタート

忠類小学校のマラソン大会が行われました。低・中・高学年に分かれて元気よくスタート。この日のために授業以外でも練習してきた生徒たちは、坂道もあつという間に駆け上がりました。ゴール時に倒れこむ子からも、走り切った達成感に笑顔がみられました。



10/6



まくべつ産業まつり・忠類どんとこいむら祭り 秋の2大まつり大盛況

10月6日①にスマイルパークで「第42回まくべつ産業まつり」、10月20日②に道の駅・忠類前で「第24回忠類どんとこいむら祭り」が開催され、家族連れなどで賑わいました。産業まつりでは、片手サイズのかぼちゃの飛距離を競う「女子かぼちゃ投げ大会」に多くの方が参加していました。どんとこいむら祭りでは、ゆり根や和牛の販売が人気を集め、来場者は秋晴れの1日を楽しんでいました。

10/20



①産業まつり：女子かぼちゃ投げ大会 ②産業まつり：お菓子まき
③どんとこいむら祭り：餅まき ④どんとこいむら祭り：ゆり根の販売